平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名　大日精化工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4116　URL　http://www.daicolor.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋　弘二
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役理財部門担当　(氏名) 武市　義彦　TEL 03-3662-7111

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	38,724	0.3	2,228	△25.5	2,438	△21.6	1,490	△18.1
25年3月期第1四半期	38,600	△2.7	2,991	15.8	3,109	16.8	1,820	38.0

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　3,548百万円　(61.9%)　25年3月期第1四半期　2,192百万円　(12.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	16.06	―
25年3月期第1四半期	19.60	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	164,280	61,125	36.0	636.69
25年3月期	157,211	57,954	35.7	604.42

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　59,116百万円　25年3月期　56,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	6.00	―	6.00	12.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		6.00	―	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	76,000	0.2	4,500	△4.7	4,400	△8.9	2,800	△10.1	30.16
通期	153,000	0.7	9,200	13.9	8,900	3.4	5,600	△2.2	60.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	93,065,554 株	25年3月期	93,065,554 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	216,274 株	25年3月期	215,773 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	92,849,547 株	25年3月期1Q	92,855,657 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(継続企業の前提に関する注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(セグメント情報等) …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期におけるわが国経済は、各種経済政策の効果などにより、個人消費や輸出が持ち直すなど、景気は緩やかな回復基調への動きがみられました。海外経済におきましては、米国では個人消費の伸びが拡大するなど緩やかな回復傾向で推移しましたが、欧州は依然として厳しい状況が続きました。中国では輸出の減少などにより景気の拡大テンポは鈍化してまいりました。

この様な経済環境のもとで、売上高は387億２千４百万円（前年同期比0.3%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は原材料価格の上昇に加え、本社ビル新築に伴い減価償却費が増加したことなどにより22億２千８百万円（同25.5%減）、経常利益は24億３千８百万円（同21.6%減）となり、四半期純利益は14億９千万円（同18.1%減）となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

（化成品事業）

当事業は、無機・有機顔料、各種着色剤、情報記録関連材料の製造・販売を行なっております。印刷インキ業界向けを中心とした顔料は全体的に低迷いたしました。また、欧州市場におけるＩＴ関連業界向け情報記録関連材料の販売も低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は58億４千７百万円（同4.5%減）となり、営業利益は10億３千６百万円（同9.9%減）となりました。

（化学品事業）

当事業は、各種合成樹脂着色剤・コンパウンド、各種コート材の製造・販売を行なっております。車両業界向けの各種コンパウンドは軽自動車や燃費性能の高い新車効果で堅調な受注が続きました。また、洪水被害を受けたタイ子会社も復旧し前期に比べ増収となりました。生活関連製品向けの合成樹脂着色剤は夏季の需要も加わり堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は207億８千９百万円（同1.5%増）となり、営業利益は原材料価格の上昇もあり11億８千１百万円（同26.7%減）となりました。

（高分子事業）

当事業は、高分子製品、天然高分子製品の製造・販売を行なっております。車両業界向けの各種ウレタン樹脂は、国内向けは前期に比べて需要回復傾向で推移し、米国市場向けは米国の景気回復に伴って好調に推移しました。しかしながら、衣料品用のウレタン樹脂は東南アジア市場向けが低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は43億３千万円（同2.9%増）となり、営業利益は７億２百万円（同9.4%減）となりました。

（印刷総合システム事業）

当事業は、各種印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。国内向けグラビアインキは飲料関連のパッケージ業界向けが天候の影響もあり低調に推移しましたが、東南アジア市場では生活関連を中心に堅調に推移しました。オフセットインキは折込チラシなどの商業印刷業界向けは比較的堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は74億６千４百万円（同2.6%増）となり、営業利益は６億５百万円（同4.0%減）となりました。

（その他事業）

当事業は、その他製商品の転売、グループ各社への不動産賃貸及び金融事業等を行っております。

当セグメントの売上高は２億９千１百万円（同42.0%減）となりました。営業損益は、不動産賃貸にかかる収入を営業外収益に計上しているため、１億２千２百万円の損失となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末の総資産は1,642億８千万円となり、前連結会計年度末と比べ70億６千９百万円増加致しました。これは、棚卸資産が増加したことなどにより流動資産が57億４千８百万円増加したこと及び「投資有価証券」が増加したことなどにより固定資産が13億２千１百万円増加したことなどによるものであります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は1,031億５千５百万円となり、前連結会計年度末と比べ38億９千７百万円増加致しました。これは、「支払手形及び買掛金」及び「賞与引当金」が増加したことなどによるものであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は611億２千５百万円となり、前連結会計年度末と比べ31億７千１百万円増加致しました。これは、為替が前連結会計年度に比較して円安となったことにより為替換算調整勘定が増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年５月10日に公表した以下の数値より変更はありません。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第２四半期（累計）	76,000	4,500	4,400	2,800
通期	153,000	9,200	8,900	5,600

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,659	29,561
受取手形及び売掛金	43,501	45,411
有価証券	161	176
たな卸資産	23,036	24,434
その他	3,080	3,605
貸倒引当金	△90	△92
流動資産合計	97,349	103,097
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,994	20,037
その他（純額）	22,085	22,961
有形固定資産合計	42,079	42,998
無形固定資産		
その他	1,041	1,119
無形固定資産合計	1,041	1,119
投資その他の資産		
投資有価証券	12,292	13,236
その他	4,613	4,026
貸倒引当金	△165	△198
投資その他の資産合計	16,741	17,065
固定資産合計	59,862	61,183
資産合計	157,211	164,280
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,032	30,797
短期借入金	22,855	22,806
1年内返済予定の長期借入金	8,338	9,840
未払法人税等	1,713	1,395
賞与引当金	2,032	3,057
環境対策引当金	120	121
固定資産解体費用等引当金	148	356
その他	4,553	5,110
流動負債合計	67,795	73,486
固定負債		
長期借入金	22,030	20,495
退職給付引当金	6,620	6,434
役員退職慰労引当金	444	451
関係会社整理損失引当金	295	240
環境対策引当金	634	609
その他	1,437	1,437
固定負債合計	31,462	29,668
負債合計	99,257	103,155

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,193	9,193
利益剰余金	39,255	40,380
自己株式	△91	△91
株主資本合計	58,397	59,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,569	2,146
繰延ヘッジ損益	△16	△14
為替換算調整勘定	△3,829	△2,539
その他の包括利益累計額合計	△2,276	△406
少数株主持分	1,833	2,009
純資産合計	57,954	61,125
負債純資産合計	157,211	164,280

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	38,600	38,724
売上原価	31,653	32,340
売上総利益	6,947	6,383
販売費及び一般管理費	3,955	4,154
営業利益	2,991	2,228
営業外収益		
受取利息	10	13
受取配当金	86	95
持分法による投資利益	14	9
為替差益	59	161
その他	179	140
営業外収益合計	350	420
営業外費用		
支払利息	182	168
その他	49	42
営業外費用合計	232	210
経常利益	3,109	2,438
特別利益		
固定資産売却益	0	1
受取保険金	37	－
その他	3	－
特別利益合計	41	1
特別損失		
関係会社出資金売却損	－	93
災害による損失	44	－
固定資産解体費用等引当金繰入額	－	231
その他	60	30
特別損失合計	105	355
税金等調整前四半期純利益	3,045	2,085
法人税、住民税及び事業税	1,585	1,167
法人税等調整額	△407	△600
法人税等合計	1,178	567
少数株主損益調整前四半期純利益	1,866	1,518
少数株主利益	46	27
四半期純利益	1,820	1,490

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,866	1,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△390	582
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	609	1,378
持分法適用会社に対する持分相当額	103	66
その他の包括利益合計	325	2,030
四半期包括利益	2,192	3,548
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,077	3,361
少数株主に係る四半期包括利益	114	187

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額(注３)
	化成品事業	化学品事業	高分子事業	印刷総合システム事業	その他事業（注１）	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	6,125	20,488	4,207	7,276	503	38,600	―	38,600
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	67	4	23	0	4,192	4,287	(4,287)	―
計	6,193	20,493	4,230	7,276	4,695	42,888	(4,287)	38,600
セグメント利益（営業利益）（△損失）	1,149	1,611	775	631	△43	4,125	(1,133)	2,991

（注）１．「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行なっておりません。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,133百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額(注３)
	化成品事業	化学品事業	高分子事業	印刷総合システム事業	その他事業（注１）	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	5,847	20,789	4,330	7,464	291	38,724	―	38,724
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	82	3	16	21	4,076	4,200	(4,200)	―
計	5,930	20,793	4,347	7,486	4,367	42,925	(4,200)	38,724
セグメント利益（営業利益）（△損失）	1,036	1,181	702	605	△122	3,403	(1,174)	2,228

（注）１．「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行なっておりません。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,174百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。